



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第55号

発行 幌延町議会

編集 議会報発行特別委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

第5回 定例幌延町議会

6月17日

第5回幌延町議会定例会

例会が議員全員出席のもと6月17日開会され、町長、教育長の行政報告のあと2氏が一般質問を行った。

議事案件は、報告7件、諮問1件、議案12件が可決同意された。

お	平成22年度補正予算の質疑	2
も	一般会計繰越明許費について	2
な	意見書の提出について	2
内	地域の課題をとらえて一般質問	3
容	各常任委員会活動	4
	議員研修	5
	議会の動き	5
	編集にあたって	5

平成22年度 補正予算

一般会計補正予算で1億7千2百21万9千円を追加し、歳入、歳出それぞれ総額で42億7千2百21万9千円とした。

歳出の質疑

問 教育費で心象館に防犯用監視カメラの新たな設置について。

答 以前から施設の管理体制について、カメラの設置を検討していた。

問 観光費で地域再生加速事業として4百70万円新規に計上されているが何か。

答 北海道からの交付金であり、観光資源の振興の為に本町として青いケシに対する栽培、イベント、キャラクターグッズの試作を対象とした事業となる。

(報告第2号)

◎一般会計繰越明許費について

国の平成21年度補正予算により措置された地域活性化、きめ細かな臨時交付金関連事業として、地上デジタル放送や光ファイバーによる難視聴地域の解消等の地域情報通信整備事業の他、26事業を実施するものであります。

◎役員庁舎暖房設備改修事業

◎幌延地区農道整備事業

◎トナカイ観光牧場施設整備事業

◎市街地域の町道1条仲通線、町道栄町3号線、町道上問寒10号線改修事業

◎公営住宅改修事業

◎幌延小学校と問寒別小学校の太陽光発電導入事業他17事業で13億3千5百38万円を繰越し22年度に実施するものであります。

(意見書第1号)

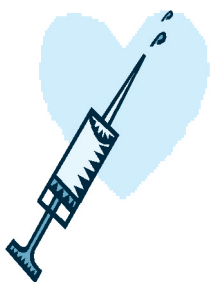
◎「ワクチン接種に関する意見書」

細菌性髄膜炎や子宮頸がんなどの発症が抑制可能なワクチンを予防接種法の定期接種対象として承認するよう北海道として国に要請すること。

それまでの間、ヒブワクチン及び7価肺炎球菌結合型ワクチンと2価HPV様粒子ワクチンの接種費用を北海道が補助して希望者の高額負担を軽減し道民が安心してワクチン接種できるように強く要望する。

以上の意見書を産業厚生常任委員長の斉賀弘孝氏が議会へ提出、全員同意で採択し北海道知事へ提出する事とした。

尚、現在一部の市町村では独自でワクチン接種費用の助成を行っている。



地域の課題をとらえて

2氏が一般質問



菅原 利彦

Q、芸術文化の振興について

社会教育分野の一つである芸術文化事業にあつてはそれぞれの地域により難しい課題であります。現在本町には他にない財産がありますが充分生かされていない現状にあると思うが次の3点について質問する。

1.「心象館」について
創造性豊かな心を育む書道文化が高まっているが、児童生徒の為に宗谷に移管を期に広域的な見地から再度、心象書道展を実施する考えはないか。

2.「富士元寿彦、動植物写真常設展示室」の創設について

また毎年写真展として紹介しており、更に今年度建設の生涯学習センターの中間空間にフィルム写真として組み入れる様計画をしている。

3.「北岡文雄、版画作品展示室」の設置について

故北岡文雄氏は平成2年、役場庁舎町民ロビーに設置のレリーフの製作を期に現在庁舎内に15点の版画があるが、あまり町民の目に触れない状況から、生涯学習センターの完成に合わせて展示室として設置し広く公開する考えはないか。

4.「北岡文雄、版画作品展示室」の設置について

また毎年写真展として紹介しており、更に今年度建設の生涯学習センターの中間空間にフィルム写真として組み入れる様計画をしている。

5.「心象館」について

また毎年写真展として紹介しており、更に今年度建設の生涯学習センターの中間空間にフィルム写真として組み入れる様計画をしている。

6.「心象館」について

また毎年写真展として紹介しており、更に今年度建設の生涯学習センターの中間空間にフィルム写真として組み入れる様計画をしている。

7.「心象館」について

また毎年写真展として紹介しており、更に今年度建設の生涯学習センターの中間空間にフィルム写真として組み入れる様計画をしている。



鷺見 悟

Q、町の口蹄疫対策は。A、農協を中心に実施している。申し合わせも行った。

質問 消毒剤などの備蓄はどうなっているのか。

認定こども園は保護者の就労の有無に関係なく入所できる施設だ。

町長 家畜保健衛生所に若干あると聞いている。

質問 保育所にしても認定こども園にしても早く作って欲しいという意見がある。

質問 留萌家畜保健衛生所は幌延町にあるが、支庁移管に供って宗谷家畜保健衛生所の方へ(浜頓別町)移ったが、せつかく地元にあるのだから申し入れを行って利用できるようにして欲しい。

町民課長 民主党政権になつてから、交付税算入、一般財源化されている。中頓別町、遠別町でも実施されているのでよく聞いて計画したい。

町長 道に申し入れを行っており、相互に連携を図ってゆくものと理解している。

質問 保育料についてはどうなるのか。

質問 エゾシカ・カラス・アライグマなどの鳥獣害の防止をどう進めるのか。

町長 応分の負担を考えている。

町長 ハンターによる駆除、わなの設置による駆除を推進しているが、ハンター数の減少から厳しい状況だ。

質問 3月議会でも触れたが宮園町特高賃住宅の空き室が埋まらない理由は何か。高すぎるのではないか。

質問 二年後に幼保一元化の認定こども園の創設を考えているようだが、もともと幌延町には幼稚園はなく、あえて認定こども園を作る必要性はないのでは。

町長 3月議会でも触れたが宮園町特高賃住宅の空き室が埋まらない理由は何か。高すぎるのではないか。

町長 町としての計画では平成26年頃をめざしている。

町長 町としての計画では平成26年頃をめざしている。

常任委員会 報告

■第4回総務文教常任委員会

(6月2日)

調査事項

(1) 幌延町まちづくり事業

補助

○事業実施者〓有限会社北斗観光物産

○事業名〓パン・菓子工房開設事業

○事業の目的及び概要〓トナカイ観光牧場で事業を展開することにより、町内外からの集客の向上と収益並びに雇用の増加を図る

○総事業費〓1千3百31万円

○補助金額〓5百90万円 (販売用什器・製造機材)

問 会社が倒産または事業から撤退した場合の補助金に対する規定はあるのか。

答 補助金の規制を強めるべきだという意見もあれば、町の振興・活性化を図るには規制すべきではないという意見もある。そのバランスを取りながら対策等を勉

強していく。

(2) 選挙体制の見直し

現行7区ある投票区・投票所を3つの投票区・投票所に改編する。第1投票区は上問寒・中間寒・問寒別・雄興で、投票所は問寒別公民館。第2投票区は、開進・上幌延・字幌延・北進・幌延市街で、投票所は総合体育館。第3投票区は下沼で、投票所は下沼寿の家。改編後は問寒別地区においても期日前投票を実施する。場所は問寒別公民館で、期間

は投票日前の3日間とする。

問 下沼地区の統合は考えられなかったか。

答 有権者数1百人以下の地区を統合したいと相談してきた。下沼地区は1百40人位なので統合の対象になっていない。

(3) 幌延町総合体育館の耐震改修事業

総合体育館は災害時の避難収容施設としての位置付けがあることから、昨年度に耐震診断調査を実施し、補強が必要とされた。改修内容は1階4ヶ所、2階12ヶ所と屋根の補強。着工は23年の春からを予定し、

事業予算6千2百91万6千円の内1/2は国土交通省の交付金で行う。

問 工事によって休館日数はどの位になるのか。また、代替施設はどこになるのか。

答 4、5ヶ月を想定している。小・中学校の体育館を

と考えているが授業や学校行事等を加味しながら検討していく。

問 安全率はどうなるのか。

答 耐震指標というのが最大で10倍になる。0.7以上で倒壊の危険性が低いとされており、改修後は最低の位置でも0.89あり、それ以外では1以上の数値になる。

■第5回総務文教常任委員会

(6月17日)

調査事項

(1) 幌延町生涯学習センターの建設工事

国際交流施設と学習センターの間のポーチ部分に、シンボルとなるモニュメントを建設したい。予算額は5百万円以内としたい。制作者は、北海道出身で若手の伊藤隆弘氏を予定している。

■第3回産業厚生常任委員会

(6月2日)

調査事項

(1) 次世代育成支援対策地域行動計画(後期計画)

問 認定子ども園の助成状況はどうなっているか。

答 私立等の法人には国の補助制度があるが公立には補助制度がない。

幌延町の保育料については国の基準の85%程度の保護者負担を頂いている。

(2) 北星園の民営化

民営化のスケジュールが大幅に遅れているが、審議会の提言を十分に尊重し、指定管理者制度に基づき、平成23年4月1日に実施したい。

問 適用給料表の受け入れ側と職員側との意向の条件の違いと現状をどう考えているか。

答 職種が同じで、給料表の適用が違うということはありえないので、受け入れ側の法人と折衝しながら決断すべき時期が来ると感じている。

問 今後の運営に支障の無い体制を作ってもらいたい。

答 よく考えながら判断して行きたい。

(3) 幌延町トナカイ観光牧場

問 パン工房のテナント料を取るべきではないか。

答 トナカイ牧場の集客を図るため民間によりパン工房を設置したが、レストランが赤字のためテナント料は取っていないので、同じ扱いとしてテナント料は取っていない。

問 口蹄疫の対策は。

答 出口に消毒用マットを設置。

■第4回産業厚生常任委員会

(6月17日)

調査事項

(1) 北星園の民営化

問 給与の差額をどのようにするのか。

答 給与の経過措置を図る。民営化直前の給与を1年、3年目は100%、4年、6年目は95%、7年、10年目は90%補償する。

町村議会議員研修会 に参加して

札幌コンベンションセンターにて開催された議員研修会で、経済産業研究所、上席研究員、山下一仁氏による「グローバル化と人口減少時代の農政改革」と題し、日本の農業保護の構造と原因、改革の必要性等について講演された。

現在の農政における問題は1970年から40年近くも実施してきた減反政策や輸入農産物に対する高関税など、2つの悪影響が発生し、年間2千億円もの財政負担が必要となっている。そのため零細兼業農家が滞留し水田農家の規模拡大ができず、担い手不足、農業者の高齢化等の問題も発生したとの見解を示し、今後の対策として輸入小麦を減らし米価を下げることににより、より国際競争

争力もつくであろうとのことだった。

もう一人の方は、白鷗大学教授、福岡政行氏による「これからの政局の展望」と題し、7月に行われる参議院選挙の行方、小沢民主党議員による、政党助成金問題の今後の顛末など三時間半に渡る各講演を大勢の参加者が真剣に聞き入っていた。



全道町村議会議員研修会

議会の動き

- 4月7日 ▶ 第60回議会報発行特別委員会
- 4月9日 ▶ 第61回議会報発行特別委員会
- 4月19日 ▶ 第62回議会報発行特別委員会
- 4月28日 ▶ 宗谷管内町村議会議長会臨時総会(稚内市)
- 5月10日 ▶ 第63回議会報発行特別委員会
- 5月12日~13日 ▶ 宗谷管内議会議員研修会(利尻富士町)
- 5月19日 ▶ 第4回臨時会
議員会総会、林活連総会
町内行政視察
- 第64回議会報発行特別委員会
- 5月27日 ▶ 道北地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会総会
- 5月28日 ▶ クリーン作戦
- 6月2日 ▶ 第2回議会運営委員会
第4回総務文教常任委員会
第3回産業厚生常任委員会
第65回議会報発行特別委員会
- 6月9日 ▶ 第66回議会報発行特別委員会
- 6月15日 ▶ 第5回定例会
第4回総務文教常任委員会
第3回産業厚生常任委員会
第67回議会報発行特別委員会
- 7月1日~2日 ▶ 全道議員研修会
- 7月7日 ▶ 第68回議会報発行特別委員会



「町政はあなたのために」 議会を傍聴しませんか!!

開会日程は防災無線でお知らせしております。



議会だよりにご意見をお寄せ下さい

議会事務局までお寄せください。
5-1111(内線312)

編集にあたって

冷夏と予測していた今年の夏は6月に入り気象庁始まって以来の高温と好天が続き酪農業の牧草収穫が順調に進んでおり、依然厳しい酪農情勢の中で少しは明るい話題だ。

今回の議会報が届く頃には参議院選挙の結果が決まっていると思いますが、私は政党の公約(マニフェスト)についていろいろ考えさせられた。

宮本町長の2期目も残り4ヶ月となり、当初掲げた公約も国政変動の中にあつて、ほぼ実行に移して町づくりを進めてきたと認識している。

議会議員の任期も来年春までですが、各議員が町民の皆様と約束した理念を大いに発揮し、よりよい町づくりを目指して参ります。

編集委員長
副編集委員長
編集委員

植村 敦
無量谷 隆
菅原 利彦
西澤 裕之